

病 防 第 1 6 号 の 1 0
平 成 2 9 年 1 月 3 0 日

各 { 関係機関の長
市町村長（農務関係課）
農業協同組合長
農業共済組合長
病害虫防除員 } 様

岐阜県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報（地区情報）の送付について

別紙のとおり予想されますので、指導上の参考にしてください。

記

病害虫発生予察情報（美濃地域） 2月予報

所 属	岐阜県病害虫防除所 企画情報係		
係 長	石 川	担 当	杉 原
T E L	0 5 8 - 2 3 9 - 3 1 6 1（直通）		
F A X	0 5 8 - 2 3 4 - 0 7 6 7		

平成28年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 2月予報

【イチゴ】

ハダニ類

発生量の増加が認められます。低密度時には葉のカスリ症状も現れず、発生に気が付きにくいいため、ほ場内をよく観察し、寄生密度が低いうちに防除を行ってください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測（2月）

作物	病害虫名	2月(予測)	発生状況及び今後の予測	1月(発生量)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	やや少	枯死部位で発病が認められる。今後、枯死した花卉や果梗部で増加すると予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・灰色かび病 枯死した花卉や果梗部、発病部位は見つけしだい除去し、被害の発生を防ぐ。 ・ハダニ類 古葉や果柄などを除去し、薬液が葉裏まで十分かかるよう丁寧に散布する。同一系統の連用は避ける。
	うどんこ病	少	調査ほ場では発病は認められない。気温が発生適温を下回るため、増加はないと予測される。	少	
	ハダニ類	多	調査ほ場で発生が認められる。施設全体で発生が認められ、今後気温の上昇とともに発生が増加すると予測される。	多	
	コナジラミ類	並	調査ほ場で発生が認められる。気温が発生適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	並	
トマト	灰色かび病	やや少	調査ほ場では発病は認められない。葉先枯れや枯死した花卉から発生すると予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・コナジラミ類 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。
	コナジラミ類	少	調査ほ場で発生が認められる。気温が発生適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場では発病は認められない。耐病性品種では今後も発生は少ないと予測されるが、一部の罹病性品種では発生すると予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・べと病 過湿時には発病が助長されるため、送風機などを利用し、通風を良くする。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。
	うどんこ病	少	調査ほ場では発病は認められない。気温が発生適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
	べと病	少	調査ほ場では発病は認められない。降水量は少ないと予想されており、急激な増加はないと予測される。	少	
	アザミウマ類	少	調査ほ場では発生は認められない。気温が発生適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
	コナジラミ類	少	調査ほ場では発生は認められない。気温が発生適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種：イチゴ（濃姫・美濃娘）、トマト（CF桃太郎J：葉かび病耐病性）、キュウリ（極光・千秀2号：褐斑病耐病性）

野菜類 灰色かび病

イチゴでは収穫後の果梗部での発病が認められ、トマトでは葉先枯れなどの枯死部位の増加が見られます。今後は気温の上昇とともに葉先枯れや枯死した果梗部、花がらなどで本病が発生すると考えられます。枯死部位に発生した本病は、その後の果実等における発生源となるため、栽培管理時に、葉先枯れや枯死した果梗部、花がら等の除去を徹底してください。



枯死した果梗部での発生
(イチゴ)



葉先枯れでの発生
(トマト)

数値データ

(調査：岐阜・西濃地域1月)

イチゴ		H28	平年
灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
うどんこ病	(発病果率)	0	(0.0)
ハダニ類	(寄生株率)	27.3	(8.7)
コナジラミ類	(寄生株率)	0.7	(0.6)
トマト			
灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
灰色かび病	(発病株率)	0	(-)
コナジラミ類	(誘殺頭数)	0.5	(1.2)
キュウリ			
褐斑病	(発病葉率)	0	(0.0)
うどんこ病	(発病葉率)	0	(0.2)
べと病	(発病葉率)	0	(0.0)
アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)
コナジラミ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)

注1)イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注2)()内数値は平年値、単位は株率・果率・葉率は%、頭数は頭

注3)トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板1枚あたりの誘殺数(調査期間:12/IV~1/III)

注4)トマト灰色かび病の発病株率は本年度より調査開始したため平年値なし

＝施設栽培の病害虫防除について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 1月26日)

向こう1カ月の平均気温は平年より高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多い予想です。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767